

# 定例教育委員会会議録

(令和2年2月6日開催)

岡谷市教育委員会

# 定 例 教 育 委 員 会

日 時 令和2年2月6日(木)  
午前9時30分  
場 所 202会議室  
署名委員 小平委員、草間職務代理者

## 【 次 第 】

### ○ 開 会

### ○ 教育長報告

### ○ 議 題

1. 第6次岡谷市生涯学習推進計画(案)について【別添資料】 (生涯学習課)

2. 第2次岡谷市スポーツ推進計画(案)について【別添資料】 (スポーツ振興課)

### ○ 報 告

1. 令和2年岡谷市成人式の参加状況について【資料No.1】 (生涯学習課)

2. 岡谷市議会12月定例会一般質問要旨について【別添資料】 (各課)

### ○ そ の 他

・行事等について(各課)

・その他

### ○ 議 題

3. 岡谷市教育委員会表彰について【資料No.2】(非公開) (教育総務課)

【次回開催予定】 3月6日(金) 定例教育委員会 13時30分 202会議室

## 出席委員

教育長 岩本 博行、職務代理者 草間 吉幸、教育委員 太田 博久、教育委員 高木 千奈美、  
教育委員 藤森 一俊、教育委員 小平 陽子

## 事務局(説明員)

教育部長 城田 守、教育部教育担当参事 三村 靖夫、教育総務課長 両角 秀孝、  
教育総務課主任指導主事 竹内 良之、生涯学習課長 小池 秀昭、スポーツ振興課長 小河原 義友、  
教育総務課統括主幹 山田 勝由紀、教育総務課主幹 小口 明彦、教育総務課主査 保科 圭吾

## <会議録>

### ○開 会

岩本教育長： 皆さんおはようございます。ご多用の中お集まりいただきありがとうございます。1日、1日と日差しが長くなってきました。いよいよ年度末の総まとめの時期が近づいています。皆で力を合わせて良い締めくくりができるように頑張ってもらいたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

それでは、只今より定例教育員会をはじめます。本日の署名委員は小平委員さんと草間職務代理者さんをお願いをいたします。最初に私から教育長報告をさせていただきます。

### ○教育長報告

本日は、教育総務課3件の報告をさせていただきます。

#### 1. ものづくりフェア2020における特別授業について

2月7日（金）にララオカヤで、テクノプラザおかや“ものづくりフェア2020”が開催されます。例年、ものづくりフェアでは、市内7校のうち2校の5年生を招待して、企業展示見学と体験学習会を行って参りました。

今年度は、更に1校加えて、プログラミング教室が開催されます。事業の主体はソフトバンクC&B株式会社で、岡谷の出身者が経営する会社であります。

対象児童は小学5年生で、今回は、岡谷田中小の2学級62名です。

来年度より完全実施となる新学習指導要領では、プログラミング学習が必修となっております。岡谷市では平成27年度より、「ものづくりのまち」として、いち早くプログラミング学習を取り入れ、「ものづくりロボットプログラミング授業」を行ってきました。こちらは小学校4年生が対象ですが、授業を進める主任指導主事と岡谷工業高校の生徒や市内4中学校の技術科教諭とのチームティーチングの取り組みなど、活動の枠が広がっております。

今回のプログラミング教室も、子どもたちが、プログラミング学習に親しむための貴重な機会と捉えております。教育委員のみなさんも、お時間が許すようでしたら、是非、ご参観ください。

#### 2. いじめ根絶に向けた子ども達の取組紹介の掲示について

岡谷市では、いじめ根絶に向け、小中学生が合同で「いじめ根絶子ども会議」を開催し、子ども達が自らの力で取り組んでおります。

例年、12月に開催しておりましたこの会議の「まとめの会」を、今年度は昨年7月に開催し、「発信の会」として位置づけ、会議で学んだことを、代表の子ども達が自分の学校に持ち帰り、各学校で1年間、いじめ根絶のため取り組んでまいりました。

先日、岡谷市いじめ防止対策推進委員会において、担当の先生方から各学校の取り組み状況を報告いただきましたが、実践報告を聞きますと、その学校らしい取り組みがなされ、子ども達にとって、良い活動になったと感じております。

今月28日まで1ヶ月間、市役所のロビーにおいて、子ども達が1年間取り組んできた活動紹介を掲示しております。

ぜひ、多くの市民の皆さんに見ていただき、いじめについて、また人権について、一緒に考えていただきたいと思っております。

#### 3 放課後子どもの居場所づくり事業 合同作品展について

岡谷市では、市内の全ての小学校で、希望する全ての児童を対象に、地域の皆様のご協力により、

放課後に学校の教室や体育館で子どもたちの遊び場を設ける「放課後子どもの居場所づくり事業」を実施しており、多くの子どもたちがとても楽しみに参加してくれています。

この活動に参加する子どもたちの成果発表の場として、美術考古館を会場に毎年2月に合同作品展を開催しております。今年は2月4日（火）から16日（日）まで、童画館通りに面した1階交流ひろばを貸し切り、子どもたちが一生懸命制作した絵画や工作などの作品を展示しております。

教育委員のみなさんも、お時間が許すようでしたら、児童版画展と一緒に是非ご観ください。

## ○議 題

### 1. 第6次岡谷市生涯学習推進計画（案）について（生涯学習課）

岩本教育長： 議題1について事務局より説明をお願いします。

<事務局より第6次岡谷市生涯学習推進計画（案）について説明>

岩本教育長： 今、事務局から説明がありましたが、最初にご質問がありましたらお願いします。

高木委員： 全体を通して非常にわかりやすくなっていますし、フォントも大きくて読みやすいので市民の皆さんも見てみようかなという気持ちになると思います。2点お聞きします。1点目は、資料編の44ページに旧林家住宅の説明文に「和室は一見の価値あり。」と記載がありますが、どの施設も一見の価値があると思います。資料編全体を通して相互に連携しているということが市民にも伝わるように統一性のある書き方にさせていただくといいのかなと思いました。

2点目は、この計画の中で地域というものが非常に重要なポイントを占めていると思います。私もなかよしプログラムを学校で推進する立場にあっても、地域の方に活躍していただくことの重要性を非常に感じていて、とても大事なことだと思いますが、この計画の中での地域という定義がどこにあるのかなというのを全体を通して感じました。私は、日頃活動している中で、市内だけじゃなくて市外、郡外から多くの方が岡谷市にいらしていて、色々な講座でリーダーをしたり、ボランティアをしたりして同じ仲間として一緒に活躍してくださっているので、地域にこだわらずに広く人をよびこんで学んでいくということも大切だと感じています。色々な人が活躍できる岡谷市という方が将来発展性があるのかなと思います。

事務局： 1点目については、ご指摘をいただいたとおり施設ごとにバランスが悪いかと思いますので、修正をしたいと思います。2点目についても、委員さんがおっしゃられたことはよくわかりますので考えてみたいと思います。

小平委員： 人材の発掘については、具体的に何かリストがあるのでしょうか。

事務局： ここで整理をしてリスト化していきたいと思います。

小平委員： 作業的には大変だと思いますが、地域の人材発掘はできるだけお手伝いをしたいと思いますのでよろしくお願いします。あと、図書館についてなんですけど、17ページに「図書館機能の充実」とありますが、岡谷の図書館の蔵書のうりみみたいなものがあるのかなと思います。岡谷図書館の蔵書について情報提供できますというようなくだりがあるのかなと思いました。あとはとても今の時代に合った伝わり方ができるような言葉や内容になっていると思いますし、見やすさもよく考えられていると思います。

草間職務代理者： 「人生100年時代」という言葉の解説ですが、長寿社会だからこそ生涯学習が必要というようなことを付け加えていただければ、よりこの言葉がわかりやすくなるのではないかと思います。

あと、7ページに「進行管理」という言葉がありますが、市民の方にはわかりにくい言葉だと思います。例えば「評価と検証」とかすれば市民の方にもわかりやすいと思いますが、どうでしょうか。

事務局： 検討いたします。

太田委員： あらためて、岡谷市は生涯学習の場も整えられているし、色々なかたちで取り組んで活用されている市民の皆さんが多いなということを実感いたしました。今回の計画につきましても、非常に上手くまとめていただいていると思いますし、基本目標の「自ら学ぶ」、「地域で活かす」、「未来で紡ぐ」というまとめ方が生涯学習の目指すべき方向性がイメージしやすいので、非常に良い目標だと感じております。そのうえで、今後ということで、こういった視点を持っていただければいいのではないかなと私が感じていることを申し上げますと、資料編のところに施設の利用状況や学習グループ数の推移がありますが、全体的に減少傾向にあることは人口減少などによって避けられないことだと思いますので、数という部分を目標とか目安にするのではなくて、難しいかもしれませんが、率みたいなのでも色々な指標を見るという視点だったり、或は新しく参加されたり、参画をされたという方がどれぐらいいるのかという視点を持つことが、これから市として地域全体で生涯学習をより活性化し、意味あるものにつなげていく時に大事な視点だと思いますので、こういった視点もこれから持っていただければいいのではないかと感じました。

事務局： 数だと実態が分かりづらいという部分がありますので、率という部分でも今後検証していきたいと思います。

藤森委員： 他の委員さんからも話がありました、大変分かりやすく、見やすい資料にまとめていただきましてありがとうございます。細かいところですが、1ページ目の「人生100年時代」注釈は、公の資料ですので、出典元をもう少し正確にさせていただいた方がいいのではないかと思います。あとは、資料編のところ、それぞれの資料で5年後の数値目標が明確に出されていますが、これは1年単位で見直しはされていくという理解でよろしいでしょうか。

事務局： はい。

藤森委員： 最後に大変僥倖ながら教育長先生の「はじめに」の文章を読んで大変感銘を受けまして、私も「琴線」に触れましたので、是非多くの市民の皆さんに「琴線」に触れていただけるような計画の推進をお願いしたいと思います。

岩本教育長： ありがとうございます。委員さんから大変貴重なご意見をいただきました。今後は、いただいたご意見を参考にして、加除、修正を加えて成案にしていきたいと思いますが、大筋この内容で教育委員会として承認してよろしいでしょうか。

#### 【承認】

岩本教育長： ありがとうございます。それでは教育委員会として承認することといたします。次に議題2に移ります。

## 2. 第2次岡谷市スポーツ推進計画(案)について(スポーツ振興課)

岩本教育長： 議題2について事務局より説明をお願いします。

＜事務局より第2次岡谷市スポーツ推進計画(案)について説明＞

岩本教育長： 今、事務局から説明がありましたが、最初にご質問がありましたらお願いします。

藤森委員： 前回から名称も含めて変更していただきありがとうございました。全体を通して岡谷市体育協会や関係団体との連携という文言が出てきて、こういった団体との連絡、連携がなければ計画の推進はできないと思いますが、具体的なところではどんなことを考えているのでしょうか。

事務局： 選手の強化を図っていくということを考えておまして、各競技団体に選手が全国レベルまでいった時に指導をして強化していくという考えを持っていただいております。あとは、怪我をしないために指導者がどう指導をしていくかということも大事だと思いますので、指導者講習会を継続的に開いて一緒になって勉強していくということを考えています。

藤森委員： 本当に岡谷市には色々な競技団体があって、そこで役員の皆さんは大変なご苦勞をされているなど感じておりますが、市と体育協会の連携の中でも加盟団体の皆さんが草の根的に一番頑張っていたかかないと個々の競技力の向上であったり、スポーツ振興につながっていかないとしま

すので、連携のあり方というところを考えていただきながら進めていっていただければと思います。

岩本教育長： スポーツ振興課長さんが体育協会の理事として理事会に入っていただいていますので、パイプをつなげるという意味では、大きいことだと思います。

高木委員： この計画の名称が「はつらつ岡谷スポーツプラン」になったということで非常にクリアで掴んだ感じになったと思います。あと19ページに計画の体系図が入ったことで、とても分かりやすくなったと思います。豆知識も計画自体には直接関係してこないですが、岡谷の歴史を知ることができて新鮮なトピックの入れ方だと思います。

太田委員： この計画を拝見するだけで元気がでてくるような非常に良い計画を作っていただけたかなと思います。そのうえで、1ページ目の『「する」「みる」「ささえる」スポーツの概念』の一番上の「する」の説明部分が「家族や友人が等が一生懸命応援することでスポーツをする人の力になることができる。」とありますが、「する」は自らスポーツをするという概念だと思っていたんですが、この説明だとどちらかと言うと「ささえる」の概念になってしまう気がするんですがどうでしょうか。

事務局： この表現だと「する」の説明になっていないので、修正をしたいと思います。

草間職務代理者： スポーツはどちらかと言うと「する」が主だと思っていましたが、「みる」、「ささえる」という内容が入ってすごく良い計画を作っていただいたと思います。せっかく良い計画を作っていただいたので市民の皆さんや指導者の方にしっかりと周知をしていっていただきたいと思います。

小平委員： 豆知識が面白いと思いますし、とても良いかたちになったと思います。内容的には子どもから高齢者、初心者からトップアスリート、楽しみ志向から競技志向までという部分が伝わってくる内容になっていまして、あまりスポーツをしない私もいいなと思えるような良い計画になっていると思います。

岩本教育長： ありがとうございます。委員さんから大変貴重な意見をいただきました。今後は、いただいたご意見を参考にして、加除、修正を加えて成案にしていきたいと思いますが、大筋この内容で教育委員会として承認してよろしいでしょうか。

### 【承認】

岩本教育長： ありがとうございます。それでは教育委員会として承認することといたします。続いて報告事項に移りたいと思います。

## ○報告

### 1. 令和2年岡谷市成人式の参加状況について（教育総務課）

岩本教育長： 報告事項1について事務局より説明をお願いします。

<事務局より令和2年岡谷市成人式の参加状況と令和4年開催の成人式のアンケート結果について説明。>

岩本教育長： 今、事務局から説明がありましたが、最初にご質問がありましたらお願いします。

草間職務代理者： 今年は例年に比べて保護者が多かったと思います。もし保護者の方が見たいと言った場合に見えるような環境があれば、一生に一度のことなので、保護者も参観ができるということを案内状の文面に入れるなど、また検討をしていただきたいと思います。

岩本教育長： そういったことを含めて、成人式のあり方について、今後しっかりと検討して、より良いものにしていきたいと思います。

それでは、次に報告事項2に移ります。

## 2. 岡谷市議会12月定例会一般質問要旨について（各課）

岩本教育長： 報告事項2について事務局より説明をお願いします。

<事務局より岡谷市議会12月定例会一般質問要旨について説明。>

岩本教育長： 今、事務局から説明がありましたが、最初にご質問がありましたらお願いします。  
よろしいでしょうか。それでは、次にその他ということで、事務局からお願いします。

### ○その他

・行事等について（各課）

<各課より行事予定について説明>

・その他

岩本教育長： 続いて委員の中でご報告等あればお願いいたします。

### ○教育委員からの報告

1. 「なかよしプログラム」について

<高木委員から岡谷田中小学校と川岸小学校の来入児1日入学の時に行われた「なかよしプログラム」について報告>

岩本教育長： それでは、最後に議題3に移りたいと思います。

### ○議 題

3. 岡谷市教育委員会表彰について【非公開】（教育総務課）

<岡谷市教育委員会表彰について事務局より説明し、承認される>

岩本教育長： それでは、事務局より次回の開催予定についてお願いします。

<次回開催日の調整>

岩本教育長： では以上をもちまして、2月の定例教育委員会を終了とします。

終了11時20分

岡谷市教育委員会会議規則第23条により署名する。

令和2年3月6日

教 育 長

名本博行

署 名 委 員

小平陽子

署 名 委 員

草間吉幸

調 製 職 員

城田守